
口頭発表

[I-29-04_06] 畜産物利用（I-午前）

Chairman:Tetuya Masuda

Fri. Mar 29, 2019 9:30 AM - 10:00 AM 第I会場 (8号館8301講義室)

9:40 AM - 9:50 AM

[I29-05] 北海道産生乳の乳酸菌叢解析と単離株の性状調査

○TORII TSUYOSHI, UCHIDA KENJI, MOTOSHIMA HIDEKAZU, KATANO NAOYA (Yotsuba Milk Products Co., Ltd.)

【目的】生乳中の乳酸菌叢に関する研究例は少なく、特に北海道内の生乳に関する詳細な報告はない。そこで、道内産生乳中の乳酸菌叢を明らかにすることと単離した乳酸菌の性状調査を目的とした。

【方法】道内4地域で2015年08月に採取した生乳41サンプルから、M17およびLBS寒天培地を用いて乳酸菌を単離し、MALDIバイオタイプで同定した。単離した*Lactobacillus*属と*Lactococcus*属については、プロバイオティクスの要件の一つである腸管到達性を評価するために低pH(pH 2.5, 3.0)と胆汁(0.1, 0.2% Oxgall)耐性試験を実施した。

【結果】単離した乳酸菌は*Lactobacillus*属166株、*Streptococcus*属122株、*Lactococcus*属44株、*Enterococcus*属31株、*Pediococcus*属8株、*Leuconostoc*属4株の計375株だった。*Lactobacillus*(*Lb.*)属の最優勢菌種は*Lb. paracasei*で48.2%を占めていた。低pHおよび胆汁耐性試験について、*Lactococcus*属の多くが0.1%Oxgallに耐性を示したが、全株がpH 3.0に耐性がなかった。一方、*Lactobacillus*属の多くはpH 3.0ならびに0.1%Oxgallに耐性を示し、pH 2.5および0.2%Oxgallに対しても5株が耐性を示した。